

平成25年度 租税教育実践事例（6年生）

登米市立横山小学校

教諭 鈴木 明美

1 はじめに

第6学年小学校社会科では、単元「わたしたちの生活と政治」が租税教育の内容に該当する。その指導内容は、学習指導要領の内容（2）「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けて構成されている。

公共施設は、国民の願いがベースとなり、「願い」が受理され建設されていく（願いが実現される）過程を調べることで、重要な位置を占める「税金」の必要性に気付かせていく内容となっている。

また、「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること」までを学ぶことができる単元である。

2 指導の実際

（1）単元の目標

○地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。

（2）単元計画

1 わたしたちの願いを実現する政治		
1	子育て支援センターの見学	津山市総合体育館（通称 若者総合体育館）が作られるまでを調べよう。
2	ソーレの活動	若者総合体育館の活用の仕方を考えよう。 ・スポーツ活動に利用 ・避難所として活用 ・学童クラブの開設（小学生の利用）
3	住みよいまちを目指して	
4	税金の働きを調べる	<u>税金の働きについて知る（本時）</u>
5	国の政治1－国会の働き	
6	国の政治2－内閣の働き	
7	国の政治3－裁判所の働き	
8	もっといろいろ調べてみよう	

9	まちづくりにわたしたちの声をいかそう
	国民の祝日について考えよう

(3) ゲストティーチャーによる租税教室の実施

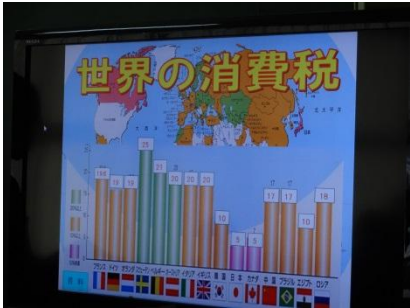
登米法人会からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税に関する専門的な知識を学び、税金についての理解をより深めていくことができると考える。

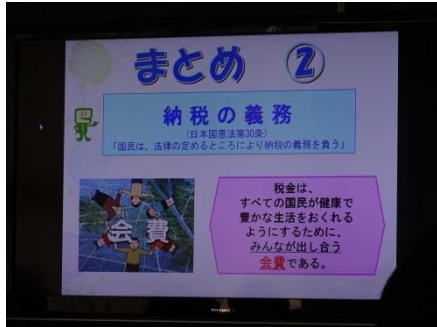
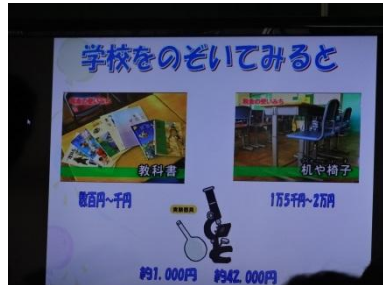
3 本時の学習

(1) ねらい

- ・税金は生活する上で重要な役割を果たしていることを理解する。
- ・納税は大切な国民の義務であることを理解する。

(2) 学習過程

段階	学習活動	学習の様子	準備
つかむ	1 本時の学習課題を知る。 わたしたちの生活と税金の関わりについて考えよう。		テレビ P C
	2 ゲストティーチャーを紹介する。	・ゲストティーチャーとしておいでいただいた、登米法人会青年部の2名を紹介する。	
広げる	3 ゲストティーチャーの話を聞きながら、税金について考える。 (1) 知っている税金の名前を挙げる。 (2) 世界の消費税の割合を知る。 	・消費税・住民税・所得税などがあげられた。 (日本は5%なのに、スウェーデンは25%も払っている。) (4月からは日本も8%になるのかな。それでも低い方だな。)	
	(3) 税金の必要性を考える。 ○DVD「マリンとヤマトの不思議な日」		

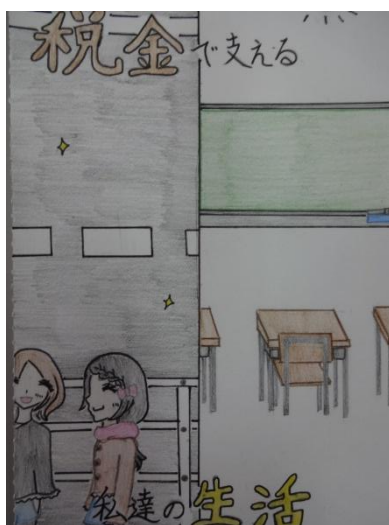
	曜日」を視聴する。 (4) 学校内の設備と税金との結びつきを考える。 ○税金は国民が支払っている。 ○学校は税金で無償になっている。 ○月謝を払うと高額になってしまう。 4 税金の大切さを理解する。  5 感想発表とお礼の言葉。	・税金の無い世の中の様子を、アニメを通して知ることができた。  ・机や椅子，教科書，理科実験器具など，全て税金でまかなわれていることを確認した。  ・「必要だと思う」の考えに，全員が挙手する。意識の高まりが感じられた。
まとめる	1億円の量と重さにびっくり	

(3) 評価

- ・税金は生活する上で重要な役割を果たしていることを理解することができたか。
- ・納税は大切な国民の義務であることを理解することができたか。

4 活動の様子

○税に関する絵はがきコンクールに応募



○税に関する標語に応募

- ・今知った 5パーセントのありがたみ (佳作)
- ・税金は みんなの暮らしを 守ってる (佳作)
- ・人のために 税金は 役に立つ
- ・税金は 見えないところで 役に立つ
- ・税金は みんなのための お金だよ
- ・ぼくらの机は 国民からの 思いやり
- ・税金が 無いと困るよ 身の回り
- ・税金は みんなのために 使ってる
- ・私たち 税金の力で 守られている